

のびのびリング

<http://www.yuzuriha.or.jp/> 編集発行：医療法人協治会 杠葉病院 ☎095-878-3734



杠葉病院は、大正13年に創設された精神科の医療機関です。
長崎市南部の緑豊かな環境の中、地域に根差した医療を心がけています。
職員一同、「患者様本位の医療と看護」の理念に基づいた人間的温かみのある
医療サービスの提供に努めます。

病 院 理 念

患者様本位の医療と看護

基本方針

- 一、人間としての尊厳と生活の質を重視した全人的なケアの提供
- 二、地域社会との連携を目指した医療・看護サービスの提供
- 三、職員の専門知識の向上による医療・看護の充実

部署紹介

「外来部」紹介

外来部 看護師 大石 史子



私たち外来部は、看護師 1 名・准看護師 1 名の計 2 名で構成されています。

具体的な業務内容として、常勤医師（精神科医）4 名の指示の元、診察の補助や採血・注射等の処置などをおこなっており、患者様の血圧・体重測定、頭部 CT や血液検査など検査の補助や実施・注射などがあります。

また、当院外来の患者様を対象に訪問看護を実施しており、ソーシャルワーカー等と共に自宅訪問をおこない、患者様の生活状況や精神状態の観察、服薬管理の確認や指導なども行い、安定した在宅生活が見守り、サポートしております。

当院の外来を受診される患者様は、うつ病や統合失調症、パニック障害、認知症・被爆体験による精神的要因に基づく健康影響に関する特定の精神疾患について要医療性があると判断された方など様々で、10 代後半から 90 代後半までと幅広い年齢層の方が来院されます。

来院される患者様は、精神的・心理的に何らかのストレスや疾患を抱えているため、対応時には、ほかの診療科以上に配慮が必要です。

常に患者様一人ひとりの状態を把握し、状況に合わせて接する事を心がけています。どのような状況であっても、優しい言葉掛けと笑顔を忘れず、安心して診察を受けて頂けるよう、今後も日々努めていきたいと思っております。



九州精神医療学会発表

単科精神科病院における
摂食・嚥下リハビリテーションについて

平成27年11月19日より、佐賀県で開催される第61回九州精神医療学会に参加し、看護研究の発表をおこないました

● 平井 達也 (看護師)

発表テーマ：「看護・介護職員の意識調査をもとに今後の課題についての検討」

はじめに、厚生労働省の報告によると、2010 年までの日本の三大死因は、①悪性新生物②心疾患③脳血管疾患であったが、2011 年以降脳血管疾患に替わり肺炎が第 3 位となっています。また、肺炎で死亡するものの約 95% が 65 歳以上の高齢者であると報告されています。

肺炎の原因の一つとして誤嚥（食物や異物を気管内に飲み込んでしまうこと）によるものがあり、誤嚥によって起こる肺炎を誤嚥性肺炎と言います。

誤嚥性肺炎は特に高齢者に多いとされています（高齢者の肺炎の 70% 以上が誤嚥に関係していると言われる）。その理由として、加齢に伴い、食物を噛んだり、飲み込んだりする機能が低下することがあるからです。これを嚥下障害と言います。

高齢者に多い誤嚥性肺炎を予防し、嚥下障害を改善する方法の一つに口腔ケアがあります。口腔ケアには大きく分けて①口の中をきれいにするケア②口の機能を高めるケアの 2 種類があります。

当院では、平成 26 年度より摂食・嚥下リハビリテーション委員会を設立。近年当院でも誤嚥性肺炎を患う患者が増加しており、誤嚥性肺炎の予防に対して口腔ケアへの取り組みを行っています。

今年度、私どもは、摂食・嚥下リハビリテーション委員会の活動の一貫として、口腔ケアに関する看護研究に取り組みました。

研究の内容は、当院の病棟で勤務されている職員を対象に口腔ケアに関するアンケート調査を実施。現在、院内で行われている口腔ケアをより良いものにする為への検討を行うといった内容です。

● 西 英行 (看護師)

発表テーマ：「目指せインフルエンザゼロ更新～インフルエンザ感染防止対策の充実を図るために～」

● 松森 夕依 (作業療法士)

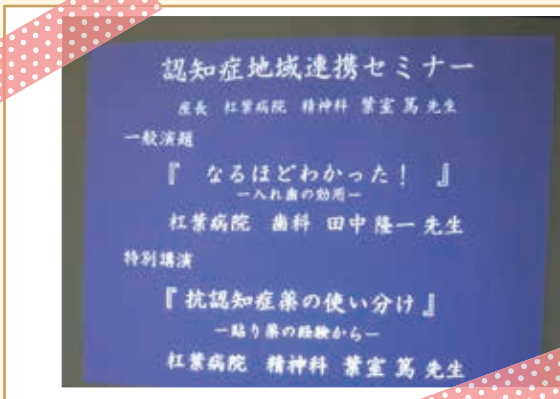
発表テーマ：「間食へのアプローチ～みんなで勉強ダイエット～」



認知症地域連携セミナー(秋)開催いたしました

平成27年9月2日(水)、当院B棟ホールにて、第4回目となる、「認知症地域連携セミナー(秋)」を開催致しました。地域の開業医の先生、地域包括支援センターや居宅介護支援事業のケアマネジャーなど、多数の関連機関の皆様に参加して頂きました。

今回のセミナーでも、活発な質疑応答が会場よりおこなわれ、当セミナーへの期待の高さを感じました。



【一般演題】

『なるほどわかった!』
～入れ歯の効用～

歯科医 田中 隆一先生

【特別講演】

『抗認知症薬の使い分け』
～貼り薬の経験から～

精神科医 認知症専門医 葉室 篤先生



今回のポイント【入れ歯の効果・効用】

- 食物をかみ砕く
- 食いしぼる事を可能にし、体全体の運動を補助する
- 噛む事により、脳への刺激が伝わる
- 顔の表情が若返る
- 発音が明瞭になる
- 動揺した歯を支え、残った歯を長持ちさせる

廃用症候群の予防  Point!

特別講演では、認知症専門医 葉室 篤先生より「抗認知症薬の使い分け」～貼り薬の経験から～とのタイトルで、症例を交えて解りやすい説明がありました。

ポイント Point!

- 認知症の人は病状が進むことで病状の意識が薄れる⇒薬を飲ませにくい⇒貼り薬が使いやすい!!
- 抗認知症薬は、「気持ちを持ち上げたいとき」「少し抑えたい時(焦燥感)」で上手に使い分けをおこなうことが大切である。





新人職員紹介



高谷 千里
(精神保健福祉士)

仕事に慣れないうちは何かとご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。めげずに頑張ります。



峯 信一郎
(作業療法士)

4 月から働いています。一人前の OT になれるよう日々精進していきたいです。よろしくをお願いします。



萬矢 大地
(介護士)

初めての介護でわからないことが多いですが、一生懸命仕事をし、看護師になれるよう頑張ります。



一倉 麻衣
(看護師)

5 月から入社しました。これまでの経験を活かし、楽しく仕事に励みたいと思います。よろしくをお願いします。



岩永 益良
(准看護師)

精一杯頑張りますので、よろしくをお願いします。



下妻 剛
(介護士)

少しでも患者様のお役に立てるように頑張ります。



崎戸 利恵子
(准看護師)

おっちょこちょいですが頑張ります。よろしくをお願いします。



栗林 茉莉乃
(介護士)

素敵なスタッフと患者様に恵まれて、幸せです！笑顔と元気をモットーに頑張ります！！



山口 雅浩
(介護士)

これまで全然違う職種で働いており、一からのスタートでしたが想像以上に楽しく仕事をしています。将来的には看護師になりたい為、勉強と仕事を両立して頑張っていきます。



山下 義也
(介護士)

はじめまして。相手の立場になって考え、楽しみながら仕事を頑張りたいです。



伊藤 由香
(介護士)

一生懸命がんばります。よろしくをお願いします。



職員活動

平成 27 年度 第 54 回 病院親睦ソフトボール大会 に参加しました。

平成 27 年 9 月 23 日 (水) 秋分の日、毎年恒例の藤村杯病院親睦ソフトボール大会へ参加しました。2 試合とも好ゲームでしたが、また、

あと一歩届かず、「1 勝 1 敗」で残念ながら、県大会出場となりませんでした。これにめげず、来年もパート優勝目指し頑張りたいと思います。



バレーボールチームに所属しています

私は現在、『witch』という社会人の 9 人制バレーボールチームに所属しています。平成 27 年 8 月 30 日 (日)、島原復興アリーナにて「第 16 回九州・山口 9 人制バレーボールクラブ男女選手権大会 長崎県予選」が開催され、初出場で初優勝を飾ることができました。平成 27 年 10 月 10 日 (土) ~ 12 日 (月) には、久留米市にて本大会である「第 16 回九州・山口 9 人制バレーボールクラブ男女選手権大会」が開催され、予選グループ戦に出場しましたが 2 試合ともあと 1 歩という所で勝利に届きませんでした。この試合を通して経験や学び、メンバーとの絆を深めることができましたが、なんといっても学生時代の合宿のような懐かしく楽しい時間を過ごせたことが 1 番の思い出となりました。この経験を生かし、今後の練習や試合に励んでいきたいです。

地域生活支援課 内野恭奈



長崎市民体育・レクリエーション祭 弓道競技

10 月 12 日 (月祝)、長崎市民体育・レクリエーション祭弓道競技が行われました。前回大会で私たち紅葉病院チームは団体優勝し優勝旗を獲得したため、今年は返還そしてまた獲得するために新チームで臨みました。結果として団体は惜しくも 4 位に終わり、優勝旗は他へ渡ってしまいましたが、個人で優勝することが出来ました。紅葉病院チームとして参加できる大会は限られますが、今後も紅葉病院チームとして参加し、良い成績を残していければと思います。

高齢者こころのケアセンター
桜花病棟 看護主任
若浦雄也



「出張相談」への 挑戦

～この 1 年間の活動を振り返って～

出張相談担当者：
事務総務課
吉田形 和伸



私は現在、事務の総務課で勤務していますが、もともとソーシャルワーカーとして約 10 年勤務しておりました。地域との連携会議などに参加する中で、ケアマネージャーさんから、「どうも、家族に精神疾患の方がいるけど、関わり方が分からない」「担当ケースの方が、最近、精神疾患の疑いがありそうだけど、どう医療に繋げていいのかわからない」等、多くの意見を頂いていました。

● 当院は、「顔の見える病院づくり」を目指す！

- ・ 地域に選ばれる病院
- ・ 地域の関連機関との連携強化
- ・ 地域に開かれた精神科医療を展開

● 積極的に病院側から地域へ出向く活動を！！

…… 相談版アウトリーチとして「出張相談」を開始。

● 南部地域の開業医や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所へ宣伝活動を開始

改めて、ニーズを実感！！

「精神科領域で、こんなサービスが始まるのを待っていました」

「自宅まで、専門スタッフが出向いて話を聴いてくれるのはありがたいです」

など、多くのありがたいお言葉を頂きました。

1 年間の活動を振りかえって

サービスの活動開始後、月に 1 件位の相談のペースでしたが、最初は同じ相談依頼先から複数の相談があったり、関連機関同士の口コミなど、徐々にですが相談依頼が増えてきている状況です。

活動の中で見えてきたのが、

- ・ 閉ざされた空間(家庭内)での苦しみ(第三者未介入)
- ・ 老老介護、介護者の介護疲れ⇒抑うつ
- ・ 精神科医療への偏見、病気への知識不足、情報不足、精神科受診に対する不安など
- ・ 何処に相談していいかわからず孤立している

「医療、社会資源に繋がるきっかけづくり」

「とにかく想いに耳を傾ける」

「第三者との関わりをもつ」事

【H27.9 末現在】

総相談件数：22 件

- ・ 入院ケース (6件)
- ・ 外来受診ケース (3件)
- ・ 継続支援ケース (7件)
- ・ 事前依頼キャンセル (4件)
- ・ ケース終了 (2件)

問題解決の
糸口に！！



「出張相談」いたします ～こころのかぜひいていませんか？～

「最近、眠れない」「毎日、ゆううつで何もしたくない」「仕事でのストレスで体調がすぐれない」
「最近、親が物忘れがひどくなった」等、誰にも悩みを話せない・・・でもどうにかしたい！
そのような悩みがあれば、私たちからご自宅等へ出向きお話を聞かせて下さい。
一緒にお悩みを共有しながら、「こころの元気」を取り戻すお手伝いをさせていただきます。
※まずは、お気軽にお電話下さい。(相談内容によっては、ご依頼できない場合もございますのでご了承ください。)



連絡先

電話受付：平日（月～金）（10:00～16:00）（予約制）

お問い合わせ：（095）878-3734 事務総務課 担当：吉田形（よしだがた）、地域生活支援課 担当：富永

地域生活支援課からのお知らせ

～患者様とご家族の方へ～

外来受診や入院相談に関しては、
地域生活支援課のソーシャルワーカーが対応します。
ささいな事でも構いませんので、お気軽にご相談ください。

～医療機関および施設の方へ～

地域医療連携の窓口として
「地域生活支援課」が、お話をうかがいますので、
ぜひご利用ください。

受付時間：8:50～17:10 電話 **095-878-3734** (代表) ファックス **095-878-3289** (代表)

診療科目

精神科・心療内科・内科・歯科・
歯科口腔外科・矯正歯科

病床数

355床

アクセス

長崎バス

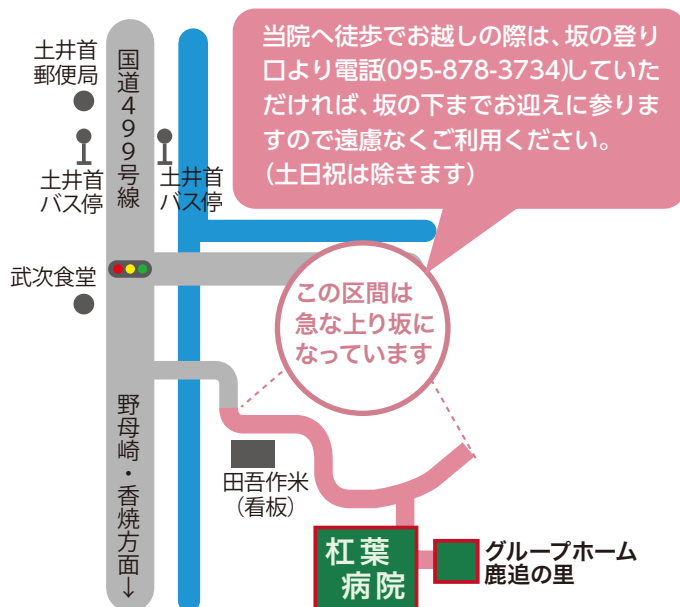
30番系統に乗車（深堀・香焼・野母崎方面行き）
土井首バス停下車 徒歩およそ10分

クルマ

国道499号下り線土井首バス停の次の信号の先を左折
（田吾作米の看板が目印）
長崎駅・大波止ターミナルからは、野母崎・香焼方面に向け
国道499号線沿いをおよそ30分走行

駐車場

100台



医療法人協治会 杠葉病院

〒850-0975 長崎県長崎市三和町413番地

杠葉病院

検索

<http://www.yuzuriha.or.jp/>

TEL 095-878-3734 **FAX 095-878-3289**



この1年、「地域に選ばれた病院づくり」として活動してきましたが、徐々に関連機関の方々との連携する機会が増え、とても嬉しく感じております。今後も日々の努力を惜しまず地道な活動をしていきたいと思っております。